

# 香良洲地区（三重県津市）

## 1. 香良洲地区の概要

### (1) 地域特性など

- ・ 三重県津市沿岸部の最南端に位置
- ・ 雲出川と雲出古川、伊勢湾に囲まれた三角州（東西 1.85km、南北 2.72km、3.9k m<sup>2</sup>）
- ・ 地区内の大半が海拔 2m 未満の平坦地。
- ・ 2006 年 1 月 1 日に旧・津市など 10 市町村で合併するまでは、一志郡香良洲町として一つの町であった。



出典 Google Map

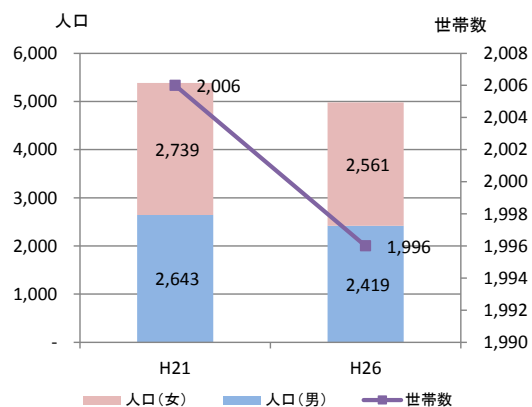
地区の位置図

- ・ 人口及び世帯数は以下のとおり。（出典：住民基本台帳（各年とも 5 月 1 日時点））

人口及び世帯数


	世帯数	人口 総数	人口	
			男	女
H21 年	2,006	5,382	2,643	2,739
H26 年	1,996	4,980	2,419	2,561

※外国人含む



(2) 過去の災害履歴及び想定災害


災害履歴

名称	年月日	被害の概要
台風第13号	昭和28年9月25日	負傷者13人、全壊16棟、流出5棟、半壊218棟、床上浸水727棟、 床下浸水109棟、香良洲橋は流失、香良洲大橋は通行不能のため香良洲町は孤立化した。 
台風第15号 (伊勢湾台風)	昭和34年9月26日	負傷者3人、全壊16棟、半壊98棟、流失2棟、床上浸水12棟、床下浸水85棟
台風第18号 (第二室戸台風)	昭和39年9月16日	床上浸水5棟、床下浸水20棟
台風第10号と 低気圧による大雨	昭和57年7月31日～8月3日	床上浸水11棟、避難勧告発令、自衛隊に災害派遣要請、町内全戸成人男子に土嚢積みの呼びかけ
台風第21号と 低気圧による大雨	平成16年9月28日～29日	床下浸水5棟

(3) 想定災害

- ・今回の地区防災計画の策定にあたっては、地区全体を対象として地震・津波を想定。

2. 当地区における従来の取組状況（支援前）

避難施設等	避難所7カ所、津波避難ビル7カ所、一時避難所9カ所	
防災設備等	デジタル同報系防災行政無線、緊急地震速報10カ所、移動系防災行政無線（半固定型8台、移動型12台、車載型1台）	
排水機場	3カ所〔稲葉2台、川口3台、掘割3台〕	
その他施設	用水堰設置場所4カ所、ゴミ溜め囲設置場所4カ所、油圧式ゲート設置場所3カ所、樋門設置場所1カ所、横引きゲート3カ所	
堤防等	香良洲海岸 高さ6メートルの堤防設置、雲出川左岸河口部高潮対策、雲出古川右岸高潮堤防工事	
高台防災公園	香良洲町地内の北東部に位置する市有地に（仮称）香良洲高台防災公園の整備が進められ、平成33年度に完成する予定。	
津波避難計画作成・災害時要援護者対策モデル事業	平成25年度、地区内の浜浦区自主防災会において、避難計画の作成や避難訓練を実施。	

### 3. 当地区の取組内容（支援後）

#### (1) 計画作成の体制

- ・自治会役員、自主防災会役員、消防団、学校関係者（保育園・幼稚園、小学校、中学校の職員）等

#### (2) 計画の作成状況

12/16	事前準備	地元住民（自治会を中心とした主要メンバー）と学識者のアドバイス等を踏まえ、地元の意向把握や進め方について確認
12/25	事前勉強会	懇談会開催前の事前勉強として、地元の既往の取組の整理やそれに基づく意見交換を実施
1/12	第1回懇談会の実施	川口先生（三重大学）のミニ講演 平時の備えや災害時のルール、年間の防災の取組等を切り口に意見交換を実施
1/30	第2回懇談会の実施	地区防災計画（骨子案）について意見交換を実施
2/9	第3回懇談会の実施	
2/24	第4回懇談会の実施	地区防災計画（素案）について確認（3/14の国連防災世界会議の発表に向けて現状の到達点の確認と内容確認）
3/1	防災講演会の実施	香良洲地区の防災意識を高めるための講演会（川口先生）及び地区防災計画作成に向けた取組状況の報告を実施

#### (3) 計画を作成する過程で発生した問題点・課題及びその解決策

問題点・課題	解決策
これまで暗黙知として運用されていたルールがあったがきちんと共有されていない。	ルールを明文化するとともに計画に位置付けることとする。
地域の防災組織である自主防災組織が、自治会と一体のものとして運用されているので、自治会役員の交代に伴う防災活動の継続が困難になっている。	自治会と独立した防災組織を設立することを計画に位置付ける。
幼稚園・保育園、小学校及び中学校がすべて1園、1校立地という特性がある。	災害時のルールについて地域と学校とが共有することを計画に位置付ける。

### 4. 成果及び今後のスケジュール

- ・平成26年度は、これまでの取組や成果を地区防災計画（骨子案）としてとりまとめた。
- ・今後は、地区防災計画骨子案をベースに計画完成に向けた取組を進めていく予定。

